



平成29年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月12日

上場会社名 シンワアートオークション株式会社
コード番号 2437 URL <http://www.shinwa-art.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 倉田 陽一郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 益戸 佳治

TEL 03-5537-8024

四半期報告書提出予定日 平成29年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第2四半期の連結業績(平成28年6月1日～平成28年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第2四半期	1,794	3.9	△0	—	△36	—	△37	—
28年5月期第2四半期	1,726	111.5	169	—	160	—	96	—

(注) 包括利益 29年5月期第2四半期 △40百万円 (—%) 28年5月期第2四半期 96百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
29年5月期第2四半期	△6.53		—	
28年5月期第2四半期	16.95		16.91	

平成29年5月期第2四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円		百万円			
29年5月期第2四半期	5,599		1,804		32.1	296.72
28年5月期	3,959		1,772		44.6	307.93

(参考) 自己資本 29年5月期第2四半期 1,799百万円 28年5月期 1,765百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
28年5月期	—	0.00	—	7.00	7.00	
29年5月期	—	0.00	—	7.00	7.00	
29年5月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年5月期の連結業績予想(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	4,299	10.3	417	17.1	382	15.2	225	37.2	39.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年5月期2Q	6,926,900 株	28年5月期	6,594,900 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年5月期2Q	862,800 株	28年5月期	862,800 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年5月期2Q	5,763,477 株	28年5月期2Q	5,711,913 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、平成29年1月25日(水)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成28年6月1日～平成28年11月30日）におけるわが国の経済は、雇用や所得環境の改善や各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調にありました。しかしながら、英国のEU離脱問題をはじめとする海外の政治や金融資本市場における不確定要素が多く、先行きは不透明な状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは、当社の主たる事業であるオークション関連事業において高額美術品を中心とした優良作品のオークションへの出品及び富裕層を中心とした美術品コレクターのオークションへの参加促進に努めました。また、エネルギー関連事業では低圧型太陽光発電施設の販売に引き続き集中的に取り組み、医療機関向け支援事業では、医療ツーリズムの本稼働に向けての準備を進め、グループ全体の安定的な収益の早期確保に向けた体制の構築に努めました。

各事業の業績は次のとおりです。

①オークション関連事業

当第2四半期連結累計期間は、取扱高1,324,804千円（前年同期間比39.0%減）、売上高391,989千円（前年同期間比27.9%減）、セグメント損失101,529千円（前年同期間は43,316千円のセグメント利益）となりました。

種別の業績は次のとおりです。

種 別	第28期第2四半期連結累計期間							
	自 平成28年6月1日 至 平成28年11月30日							
	取扱高 (千円)	前年比 (%)	売上高 (千円)	前年比 (%)	オークション 開催数	オークション 出品数	オークション 落札数	落札率 (%)
近代美術オークション	663,960	△40.8	131,656	△45.7	3	341	267	78.3
近代陶芸オークション	125,575	△45.1	26,945	△43.0	2	480	452	94.2
近代美術PartⅡオークション	111,525	△36.8	26,643	△31.8	3	767	693	90.4
その他オークション	255,360	△48.5	59,641	△39.1	5	1,717	1,123	65.4
オークション事業合計	1,156,420	△42.8	244,887	△42.6	13	3,305	2,535	76.7
プライベートセール	114,336	2.7	98,530	9.6				
その他	54,047	38.0	48,570	79.4				
オークション関連 その他事業合計	168,384	11.9	147,101	25.7				
オークション関連事業合計	1,324,804	△39.0	391,989	△27.9				

(注) 1. 取扱高の前年度比率と売上高の前年度比率の乖離の大きな要因のひとつに、商品売上高の増減があります。商品売上高は、オークション落札価額に対する手数料収入、カタログ収入、年会費等と同様に当社の売上高を構成する要素であり、当社の在庫商品を販売した場合、その販売価格（オークションでの落札の場合には落札価額）を商品売上高として、売上高に計上することとしております。

2. その他オークションは、出品の状況により随時開催しております。

i) オークション事業

当第2四半期連結累計期間は、近代美術オークション及び近代美術Part IIオークションを各3回、近代陶芸オークション及びBags / Jewellery & Watchesオークションを各2回、西洋美術オークション、ワインオークション、戦後美術&コンテンポラリーアートオークションを各1回開催し、合計で13回のオークションを開催しました。

前年同期間は、近代陶芸オークション（古美術を含む）及びBags / Jewellery & Watchesオークションをスケジュールの都合により11月に各1回開催し、特別オークションの開催を含め合計で16回開催しており、オークション開催回数の関係上、全体の取扱量が対前年比で減少しております。また、当第2四半期連結累計期間は、全般的に平均落札単価が対前年比で低迷しており、主力の近代美術オークションでは、7月に開催したオークションの低迷分をカバーするまでには至りませんでした。

その他オークションでは、10月開催の戦後美術&コンテンポラリーアートオークションが、海外のオークション市況不調の影響を受け、前年実績を大きく下回りました。

ii) オークション関連その他事業

プライベートセール部門では、当第2四半期連結累計期間も積極的な取り扱いに努め、ほぼ前年並みの実績となりましたが、全般的には、前年同期間との比較では、取扱高、売上高ともに増加いたしました。

②エネルギー関連事業

50kW級の低圧型太陽光発電施設の販売に関しましては、引き続き生産性向上設備投資促進税制の適用を目的とする需要が強く、当第2四半期連結累計期間は、合計61基（前年同期間は34基）を販売いたしました。その他、自社保有の太陽光発電施設では、秩父大野原発電所（2MW）が10月から稼働を開始しており、その他の太陽光発電施設及び風力発電施設の売電事業と併せて、当第2四半期連結累計期間の売上高合計は、1,398,436千円（前年同期間比18.3%増）、セグメント利益は、101,096千円（前年同期間比21.3%減）となりました。なお、前年同期間には穂北太陽光発電所の売却があり、売上構成及び利益率が前年同期間とは大きく異なっており、セグメント利益は前年同期間比で減少となっております。

③その他

医療機関向け支援事業におきましては、医療ツーリズムを収益の柱とするべく、香港において、中国・アジアからのインバウンド旅行者向けに、銀聯カード決済機能付プラットフォームの稼働を開始するとともに、日本国内の提携病院及びクリニックの同プラットフォームへの加盟促進に注力いたしました。その他、新たなサプリメント「プラズマローゲン・プレミアム」を、オリジナルブランド「A|A|A|A」（Asian Anti-Aging Alliance）の製品として販売を開始いたしました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,794,510千円（前年同期間比3.9%増、対前年増加額68,107千円）、営業損失934千円（対前年減少額△170,626千円、前年同期間は169,692千円の営業利益）、経常損失36,371千円（対前年減少額△197,093千円、前年同期間は160,722千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失37,635千円（対前年減少額△134,433千円、前年同期間は96,798千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は5,599,655千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,640,468千円増加いたしました。その主な内訳は商品の増加201,964千円、前渡金の増加984,990千円、機械装置の増加743,291千円と、現金及び預金の減少215,839千円、売掛金の減少207,346千円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は3,795,110千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,608,898千円増加いたしました。その主な内訳は短期借入金の増加1,024,800千円、1年内返済予定の長期借入金の増加75,000千円、割賦未払金の増加638,267千円と、オークション未払金の減少80,577千円、未払法人税等の減少58,568千円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,804,544千円となり、前連結会計年度末に比べ、31,570千円増加いたしました。その主な内訳は資本金の増加56,724千円、資本剰余金の増加56,724千円と利益剰余金の減少77,759千円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は前連結会計年度末より350,725千円減少（前年同期間は41,326千円の増加）し、926,650千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は1,145,843千円（前年同期間は374,082千円の獲得）となりました。これは主に売上債権の減少額207,346千円及びオークション未収入金の減少額107,862千円による資金増加と、前渡金の増加額984,990千円、たな卸資産の増加額201,964千円、オークション未払金の減少80,577千円及び法人税等の支払額99,535千円による資金減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は983,679千円（前年同期間は67,336千円の使用）となりました。これは有形固定資産の取得による支出848,793千円及び定期預金の預入による支出961,525千円による資金減少と定期預金の払戻による収入826,640千円による資金増加によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は1,780,276千円（前年同期間は264,872千円の使用）となりました。これは短期借入金の純増加額1,005,443千円及び長期借入による収入100,000千円、株式の発行による収入113,446千円及びセールアンド割賦バック取引による収入800,280千円による資金増加とセールアンド割賦バック取引による支出168,620千円、長期借入金の返済による支出30,586千円及び配当金の支払額39,687千円による資金減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値の差異につきましては、本日（平成29年1月12日）公表いたしました「平成29年5月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」に記載のとおりであります。

平成29年5月期の通期連結業績予想は、平成28年7月13日の「平成28年5月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第一四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,065,625	1,849,785
売掛金	256,556	49,209
オークション未収入金	228,001	120,138
商品	626,822	828,786
仕掛品	5,990	5,990
前渡金	199,085	1,184,075
その他	184,530	291,548
貸倒引当金	△412	△251
流動資産合計	3,566,198	4,329,283
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,269	3,575
機械装置及び運搬具(純額)	252,465	995,756
土地	30,500	119,740
その他(純額)	2,331	2,162
有形固定資産合計	289,566	1,121,234
無形固定資産		
ソフトウェア	5,741	5,091
無形固定資産合計	5,741	5,091
投資その他の資産		
その他	111,544	157,991
貸倒引当金	△13,864	△13,946
投資その他の資産合計	97,680	144,045
固定資産合計	392,988	1,270,371
資産合計	3,959,187	5,599,655
負債の部		
流動負債		
買掛金	65,219	29,695
オークション未払金	350,817	270,240
短期借入金	982,500	2,007,300
1年内返済予定の長期借入金	61,172	136,172
未払法人税等	98,438	39,870
賞与引当金	18,675	33,323
役員賞与引当金	58,232	21,519
その他	143,419	216,945
流動負債合計	1,778,474	2,755,066
固定負債		
長期借入金	327,556	321,970
退職給付に係る負債	42,550	44,100
長期割賦未払金	-	638,267
その他	37,632	35,707
固定負債合計	407,738	1,040,044
負債合計	2,186,212	3,795,110

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	930,457	987,181
資本剰余金	535,740	592,464
利益剰余金	524,385	446,625
自己株式	△223,655	△223,655
株主資本合計	1,766,928	1,802,616
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,864	△3,267
その他の包括利益累計額合計	△1,864	△3,267
新株予約権	5,210	3,616
非支配株主持分	2,699	1,579
純資産合計	1,772,974	1,804,544
負債純資産合計	3,959,187	5,599,655

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)
売上高	1,726,403	1,794,510
売上原価	1,082,831	1,329,165
売上総利益	643,571	465,344
販売費及び一般管理費	473,879	466,279
営業利益又は営業損失(△)	169,692	△934
営業外収益		
受取利息	263	328
還付消費税等	918	-
未払配当金除斥益	160	68
デリバティブ評価益	-	2,313
貸倒引当金戻入額	-	405
その他	278	709
営業外収益合計	1,620	3,824
営業外費用		
支払利息	8,154	16,082
デリバティブ評価損	1,125	-
支払手数料	-	23,178
その他	1,311	1
営業外費用合計	10,591	39,261
経常利益又は経常損失(△)	160,722	△36,371
特別利益		
新株予約権戻入益	3,474	1,592
特別利益合計	3,474	1,592
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	164,196	△34,779
法人税、住民税及び事業税	73,830	30,617
法人税等調整額	△5,805	△27,603
法人税等合計	68,025	3,013
四半期純利益又は四半期純損失(△)	96,170	△37,792
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△627	△157
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	96,798	△37,635

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年6月1日 至 平成27年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成28年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	96,170	△37,792
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	-	△2,365
その他の包括利益合計	-	△2,365
四半期包括利益	96,170	△40,158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,798	△39,037
非支配株主に係る四半期包括利益	△627	△1,120

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	164,196	△34,779
減価償却費	17,828	17,775
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12	△78
賞与引当金の増減額(△は減少)	32,187	14,648
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	45,526	△36,713
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,050	1,550
受取利息及び受取配当金	△263	△328
支払利息	8,154	16,082
新株予約権戻入益	△3,474	△1,592
売上債権の増減額(△は増加)	△54,831	207,346
オークション未収入金の増減額(△は増加)	△11,859	107,862
たな卸資産の増減額(△は増加)	△45,744	△201,964
前渡金の増減額(△は増加)	△111,460	△984,990
仕入債務の増減額(△は減少)	28,647	△35,523
オークション未払金の増減額(△は減少)	271,187	△80,577
デリバティブ評価損益(△は益)	1,125	△2,313
その他	79,430	△16,819
小計	422,688	△1,030,416
利息及び配当金の受取額	292	377
利息の支払額	△8,106	△16,269
法人税等の支払額	△40,792	△99,535
営業活動によるキャッシュ・フロー	374,082	△1,145,843
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付金の回収による収入	8,951	-
有形固定資産の取得による支出	△24,108	△848,793
定期預金の預入による支出	△425,000	△961,525
定期預金の払戻による収入	375,000	826,640
出資金の払込による支出	△20	-
敷金及び保証金の差入による支出	△2,404	-
敷金及び保証金の回収による収入	245	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67,336	△983,679
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	32,500	1,005,443
長期借入れによる収入	-	100,000
長期借入金の返済による支出	△268,301	△30,586
株式の発行による収入	6,560	113,446
自己株式の取得による支出	△2,125	-
配当金の支払額	△33,956	△39,687
セールアンド割賦バック取引による収入	-	800,280
セールアンド割賦バック取引による支出	-	△168,620
新株予約権の発行による収入	450	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△264,872	1,780,276
現金及び現金同等物に係る換算差額	△546	△1,478
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	41,326	△350,725
現金及び現金同等物の期首残高	971,531	1,277,375
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,012,857	926,650

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年11月14日付で、采譽投資有限公司から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が56,430千円、資本準備金が56,430円増加しております。その他新株予約権の行使もあり、当第2四半期連結会計期間末において資本金が987,181千円、資本準備金が591,931千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	オークション関連事業	エネルギー関連事業	計		
売上高	543,653	1,182,090	1,725,743	659	1,726,403
セグメント利益 又は損失(△)	43,316	128,437	171,754	△2,061	169,692

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、医療機関向け支援事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	オークション関連事業	エネルギー関連事業	計		
売上高	391,989	1,398,436	1,790,425	4,085	1,794,510
セグメント利益 又は損失(△)	△101,529	101,096	△433	△501	△934

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、医療機関向け支援事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。